

教育会議 VISIONと今後の方針

VISION

これからの自動車産業・学術研究に資する人材の発掘育成

今後の方針

1. 小学生から大学生に、学年進行による自動車ならびに自動車産業への関心を育み、進路・職業選択のきっかけとなるような体験を提供する事業の継続と拡大を行う
2. 諸団体・学会との連携を推進し、既存分野以外のソフトウェア、AI、ロボティクス、IT・通信等の分野の学生やエンジニア・研究者に向けた事業を新設、展開する
3. 活動の認知度を高め、より多くの支援協力を得、活動の拡大を図る また、会員満足度向上のため「自技会ならでは」の企画を拡大実行する。魅力ある自動車産業であり続けるための広報組織・手段の検討を行う
4. 会議体・本部支部を横断する組織あるいは連絡会の設置し、学生の育成を統括・企画実行する組織を新設する
5. 地域における活動の主体となる支部支援の仕組みを検討する
6. 部門委員会や共同研究センターや下の委員会による育成事業の支援・共催の枠組みを設定する
7. 上記対応方針ならびにロードマップの具現化・事業化をモニタし、PDCAのサイクルを回す

教育会議 ロードマップ

既存事業
新展開
新規事業

育てる人材

社会人(技術・知識・人材の取込と交流)

- ・社会科学や経営分野等出身者の活用
- ・企画・知財に精通した人材
- ・デジタル工学に精通した人材
- ・複合領域に精通した人材
- ・国際人材

大学生(ものづくり型実践教育)

- ・目標達成能力を持った人材
- ・協働能力を持った人材
- ・デザイン+エンジニアリング人材
- ・アナログ+デジタル人材
- ・創造型+問題解決型人材
- ・自動車業界を職業として認知選択

中高生(体験型目標達成教育)

- ・課題設定、チャレンジ精神
旺盛な人材
- ・コミュニケーション能力を持った人材
- ・科学・ものづくり体験を通じて、自動車を職業として認知

小学生(興味刺激型動機づけ教育)

- ・物事に真剣かつ楽しみながら取り組む自動車好きな人材

育成ビジョン: これからの自動車産業・学術研究に資する人材の発掘育成

社会・
技術背景

少子高齢化・車離れ
電動化・つながる車

新興国の台頭
自動運転・パーソナルモビリティ

人口減少社会
未知のモビリティ

2020

2030

2040

2050

育成ファンド

外国人材・他分野人材・社会科学や経営分野等出身者の取込と育成
知的財産・企画力養成講座(新ビジネス、MaaS他)、一般向け講座(安全・環境等)

自動車工学基礎・中級講座(エンジン・シャシー・走行性能・安全・物流・倫理・EV・FCV……)

自動運転・セキュリティ
等新技術基礎講座

新技術
応用講座

既存の講座科目へ

講師登録・派遣制度

「学生フォーミュラ大会」充実
社会人・学生の交流促進
新技術領域の人材育成

大会のグローバル化(国際大会としての運営)

新技術導入の検討
EV領域の拡大

新エネルギー技術
の検討

JSAE
インターン
業界体験支援

学生向け自動車工学講座の拡充

想・創造力育成(安全技術デザインコンペティションの拡充・新ビジネス、MaaS)

ジ
ュ
ニ
ア
メ
ン
バ
ー
制
度

デザイン以外の体験型育成事業(裾野の拡大)

デジタル世代向け育成(自動化・AIなどのプログラム作成と自動車の関係)

中高教員・保護者との対話活動(教材提供・交流・連携授業等での認知活動)

「カーデザイン
コンテスト」の拡充

底辺拡大
本部・支部連携

職業認知
活動・教育

デジタル・アナログデザイン教育
デザイン・エンジニアリングコンテスト

デジタル世代向け育成(自動運転車両との触れ合い)

夢ある自動車を描く(デザインの面白さへ誘導)

「キッズエンジニア」の拡充
参加者数、裾野の拡大

魅力ある
教室の開催

保護者との
対話活動

教室の充実、内容の拡充、学自研との連携、地方開催の拡大